

伝える！ つなげる！ ゴースマイル！



小宮の丘

令和4年度 学校だより
八王子市立小宮小学校
発行責任者
校長 安藤 臣一
令和4年11月30日発行
第8号

教育目標

学校 HP : <http://hachioji-school.ed.jp/komye/>

〇かしこい子 〇たかましい子 〇ゆたかな子 〇みんなと仲よく生きぬく子

「文化」をみんなで楽しむことは、人間のすばらしさを共有すること

校長 安藤 臣一

11月25日、26日に実施いたしました、第1回小宮小文化祭には、多数の保護者の皆様のご参観を賜り、児童の表現を応援していただきました。保護者の皆様からの応援は、児童にとって最大の励みであり、喜びです。本当にありがとうございました。

さて、今年度より名称を「文化祭」と変更し実施いたしました。これは、子どもたちに「文化」の意味を知ってもらい、その後の学校での学習の意味を再確認してほしいという目的がありました。

そこで、文化祭児童鑑賞日（11月25日）において、私は、右に紹介したスライドを使いながら、文化の意味についてお話をしました。話はレオレオニさんが書いた「フレデリック」というねずみのお話の紹介から始めました。このフレデリックというねずみは、他のネズミが冬に備えて一生懸命に食べ物を集めているのに、みんなと同じ仕事はしませんでした。しかし、冬になりみんなが元気をなくしたときに、フレデリックが集めてきたものをみんなに届けます。それが「光」であり、「色」であり「言葉」でした。つまり、フレデリックが集めたものは、「生きていく上で絶対に必要なものではないけれど、あれば心が楽しくなったり、豊かになったりするもの」でした。

この「あると楽しく、豊かになるもの」が文化です。人は動物の仲間ですが、他の動物とは違い「文化」を創り出してきました。ここが人間のすばらしさですね。

したがって、子どもたちが日々学校で学んでいるものは全て「文化」であり、音楽も劇も立派な文化です。「文化祭」は「文化の祭典」です。ですから、楽しくないわけではないのです。

発表している人が楽しんで伝える。だから見ている人が楽しくなる。これが「文化祭」の姿です。

子どもたちの発表はいかがでしたか？終了後に「感動」という言葉をたくさんいただきました。きっとそれは演出や内容だけでなく、子どもたちが全力で「伝えよう」としたその心にふれたからでしょう。

すばらしい文化を伝えてくれた小宮小の子どもたちを私は心から誇りに思います。

早いもので明日から12月。2学期最後の月となりました。これまで学んできた文化を子どもたちが自分のものにできるように、教職員一同全力で応援してまいります！

